

アルビクス・音声エラー検出装置 AED-200

REV1.2

特 長

- ◇2つのステレオオーディオ信号を入力し、音声を比較します。
- ◇入力1に対して入力2の遅延量が最大155フレーム（約5.1秒）まで位相調整します。
- ◇比較時は最大±10フレーム（±約0.3秒）の位相変化に対応します。
- ◇比較結果は、SNMPトラップで外部に通知します。
- ◇それぞれの入力の無音、レベル異常を検出します。

*1フレーム=33.37ms

仕 様

- ◆音声入力信号1
 - 入力信号数 : LR各1
 - 信号形式 : アナログアンバランスステレオ
 - 入力接栓 : RCAピンジャック
- ◆音声入力信号2
 - 入力信号数 : LR各1
 - 信号形式 : アナログアンバランスステレオ
 - 入力接栓 : RCAピンジャック
- ◆音声シグナルチェック出力信号1
 - 出力信号数 : 2系統
 - 信号形式 : アナログアンバランスステレオ2ch
 - 出力接栓 : RCAピンジャック
- ◆音声シグナルチェック出力信号2
 - 出力信号数 : 2系統
 - 信号形式 : アナログアンバランスステレオ2ch
 - 出力接栓 : RCAピンジャック
- ◆外部通知
 - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 - プロトコル : SNMP
 - コネクタ : RJ-45モジュラ
- ◆外形寸法 : W215 × H44 × D444.3 mm
- ◆質量 : 約3kg
- ◆電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約20W
- ◆使用温度 : 0℃ ~ 40℃

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

AED-200

アルビクス株式会社

【整理番号】

◆位相調整機能

入力信号2には入力信号1よりも遅延した音声信号を入力します。
 入力信号2に同期するように、入力信号1を遅延させながら位相調整します。
 最大155フレーム（約5.1秒）の遅延を調整します。

◆音声比較機能

2つの音声信号をL側同士、R側同士で相関係数を算出し比較します。
 比較時は最大±10フレーム（±約0.3秒）の位相変化に対応します。

以下に本装置での相関係数の計算式を示します。

A：入力信号1 B：入力信号2 N：比較サンプル数（8192サンプル）1サンプル = 1/11025 秒

$$\text{相関係数} = \frac{\left| \sum_{i=0}^{N-1} A_i * B_i \right|}{\sqrt{\sum_{i=0}^{N-1} A_i * A_i} \sqrt{\sum_{i=0}^{N-1} B_i * B_i}} * 100$$

求めた相関係数の逆相関係数が、任意設定の閾値を超える場合は
 逆相関係数をトラップで通知します。

また、ここで算出した相関係数の逆相関係数は、本体前面のVFDに表示します。

*逆相関係数 = (100 - 相関係数)

◆無音判定機能

それぞれの音声信号の無音状態を判定します。
 約1秒間の無音継続でエラーとなります。

◆レベル異常判定機能

それぞれの音声信号のレベル状態を判定します。
 約1秒間のレベル異常継続でエラーとなります。

◆遅延量計測機能

音声入力信号1に対して、音声入力信号2の遅延量を測定します。

0～155フレーム（約5.1秒）

また、ここで計測した結果は、本体前面のVFDに表示します。

*1フレーム=33.37ms

【型番】

AED-200

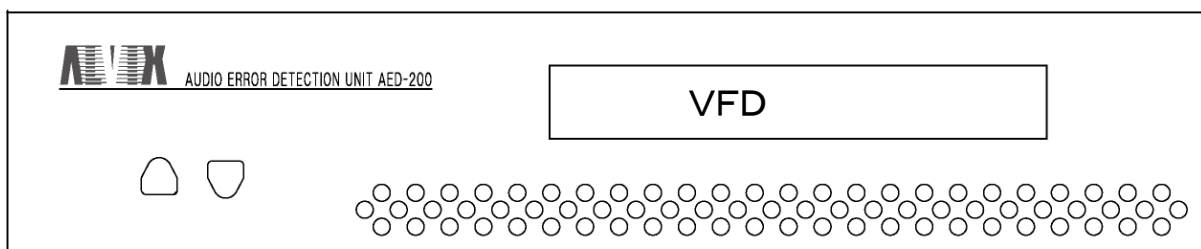
アルビクス株式会社

【整理番号】

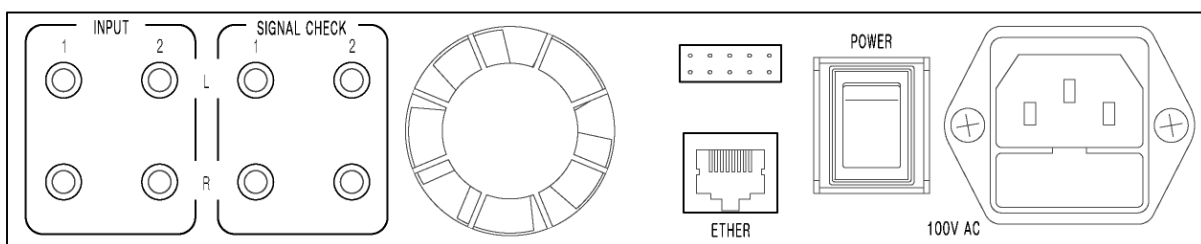
外形図

単位：mm

前面



背面



【型番】
AED-200

アルビクス株式会社

【整理番号】